

○ 汚染場所



○ 用語解説

1 土壤溶出量基準

汚染土壌から特定有害物質が地下水に溶出し、その地下水を70年間、1日2リットル飲用することによる健康影響を考慮して設定

2 土壌含有量基準

特定有害物質が含まれる汚染土壌が含まれる土地に70年間居住し、1日当たり子ども（6歳以下）200ミリグラム、大人100ミリグラムの土壌を摂食することによる健康影響を想定して設定

○ ベンゼンの健康影響について

毒性

ベンゼンは、変異原性の試験で染色体異常が報告されており、総合的に判断して遺伝子に対する障害性があると考えられています。また、疫学研究において、ベンゼンが人に白血病を引き起こすことに関して十分な証拠があると考えられています。

人がベンゼンを取り込んだ際の発がん性リスクから、「生涯にわたってその値のベンゼンを取り込んだ場合に、取り込まなかった場合と比べて10万人に1人の割合でがんを発症する人が増える水準」として、大気環境基準、水道水質基準や水質環境基準が設定されています。

発がん性について、国際がん研究機関（IARC）ではベンゼンをグループ1（人に

対して発がん性がある)に分類しています。この他、高濃度のベンゼンを長期間体内に取り込むと、造血器に障害を引き起こすことが報告されています。

体内への吸収と排出

人がベンゼンを体内に取り込む可能性があるのは、飲み水や呼吸によると考えられます。体内に吸収されたベンゼンは、呼気とともに吐き出されたり、肝臓で酸化され、尿に含まれて排せつされます。

(出典：環境省水・大気環境局「土壌汚染に関するリスクコミュニケーションガイドライン」)